

平成11年11月10日

No.

81

編集・発行 小浜市議会事務局



小浜消防団秋季訓練（於：第二中学校）

## 平成11年第5回定例会〈9月8日～22日〉概要

報告1件を受理、補正予算(専決処分)1件を承認、補正予算6件・  
条例1件・その他6件を可決、認定13件を継続審査  
陳情6件を採択・1件を不採択・2件を継続審査、意見書案6件を可決  
教育委員会委員の任命に同意、人権擁護委員の推薦に同意

平成十一年第五回小浜市議会定例会が九月八日に招集され、会期を同二十二日までの十五日間と決定し、直ちに審議に入りました。

今定例会では、議会の委任による専決処分の報告が一件、平成十年度小浜市一般会計歳入歳出決算の認定についてなどの認定が十三件、専決処分につき承認を求めらるることについてなどの議案が十五件、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについての諮問が四件、その他陳情八件、意見書六件が上程されました。

初日の八日は、会期を決定した後、報告一件を受理し、認定十三件が上程され、提案理由の説明、質疑が行われた後、決算特別委員会を設置し、委員会付託としました。(決算特別委員会の構成は別記のとおり)

次に、「専決処分につき承認を求めらるることについて」が上程され、提案理由の説明、質疑の後、直ちに採決に入り、原案のとおり承認しました。続いて「平成十一年度小浜市一般会計補正予算(第三号)」など議案十一件が上程され、提案理由の説明、質疑の後、それぞれ所管の常任委員会に付託しました。引き続き各団体から提出された陳情八件についても所管の委員会に付託し、翌九日から十五日までを休会としました。

十六日には本会議が再開され、十六日・十七日の両日にわたり十四人の議員が市政各般にわたり一般質問を行いました。

(一般質問ハイライトは別記のとおり)

十八日から二十一日までを休会とし、この間、各常任委員会において委員会に付託された議案、陳情等について審査を行いました。

二十二日に本会議を再開し、初めに認定十三件ならびに陳情二件を閉会中の継続審査としました。

続いて、各常任委員長から付託議案についての審査経過、結果が報告され、委員長報告に対する質疑、討論の後採決を行い、付託された議案については全て原案のとおり可決しました。

引き続き、意見書案六件が上程され、原案のとおり可決しました。

その後、「平成十一年度小浜市一般会計補正予算(第四号)」が上程され、提案理由の説明、質疑が行われた後、採決を行い、原案のとおり可決しました。

最後に、人事案件として「教育委員会委員の任命について」一件、「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」四件が上程され、それぞれ任命および推薦することに同意し、今定例会に付議された事件を全て議了して定例会を閉会しました。

9月定例会日程

8日 本会議  
 会期決定、報告受理、議案上程(認定)、  
 質疑、決算特別委員会設置および  
 委員会付託(認定)  
 決算特別委員会委員選任  
 議案(専決処分)上程、質疑、承認  
 議案(予算・条例等)上程、質疑  
 委員会付託(議案・陳情)

9日～15日 休 会  
 16日～17日 本会議(一般質問)  
 18日～21日 休 会(委員会審査)  
 22日 本会議  
 閉会中の継続審査、常任委員長報告、  
 質疑、討論、採決、意見書案上程、採決  
 議案(予算・人事)上程、採決

教育委員会委員の任命に同意

藤田俊雄氏(白鬚)

人権擁護委員の推薦に同意

下亟忠彦氏(阿納)  
 河野美代子氏(府中)  
 池尾正彦氏(遠敷一丁目)  
 長谷嘉雄氏(奈胡)

議案および結果

議案番号	件名	提出者	審議結果
【報告】 報告第12号	議会の委任による専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて)	市長	報告受理
【認定】 認定第1号	平成10年度小浜市一般会計歳入歳出決算の認定について	〃	継続審査
認定第2号	平成10年度小浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃
認定第3号	平成10年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃
認定第4号	平成10年度小浜市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃
認定第5号	平成10年度小浜市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃
認定第6号	平成10年度小浜市老人医療特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃
認定第7号	平成10年度小浜市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃
認定第8号	平成10年度小浜市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃
認定第9号	平成10年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃
認定第10号	平成10年度小浜市西津東部地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃
認定第11号	平成10年度小浜市地域振興券交付事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃
認定第12号	平成10年度小浜市国民宿舍事業会計決算の認定について	〃	〃
認定第13号	平成10年度小浜市水道事業会計決算の認定について	〃	〃
【議案】 議案第73号	専決処分につき承認を求めることについて (平成11年度小浜市一般会計補正予算(第2号))	〃	原案承認
議案第74号	平成11年度小浜市一般会計補正予算(第3号)	〃	原案可決
議案第75号	平成11年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
議案第76号	平成11年度小浜市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	〃	〃
議案第77号	平成11年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
議案第78号	平成11年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
議案第79号	小浜市退隠料等条例等の一部を改正する条例および昭和三十五年三月三十一日以前に給付事由が発生した退隠料等の年額の改定に関する条例の一部改正について	〃	〃

## 決算特別委員会

委員長	深谷	嘉勝
副委員長	池尾	正彦
委員	池田	英之
〃	西本	正俊
〃	富永	芳夫
〃	清水	正信
〃	宮崎治	宇蔵
〃	石野	保

全国市議会議長会より、永年在職議員に対して表彰状が、また評議員としての在職功労に対して感謝状が授与されましたので、九月定例会の開会に先立ち、その伝達を行いました。

### 表彰状

【永年在職二十五年】

深谷 嘉勝 議員

### 感謝状

【評議員在職功労】

岡本 治 前議員

松尾 剛 議員

## 議案および結果

- 議案第80号
- 議案第81号
- 議案第82号
- 議案第83号
- 議案第84号
- 議案第85号
- 議案第86号
- 議案第87号
- 諮問第1号
- 諮問第2号
- 諮問第3号
- 諮問第4号

### 【陳情】

- 陳情第5号
- 陳情第7号
- 陳情第8号
- 陳情第9号
- 陳情第10号
- 陳情第11号
- 陳情第12号
- 陳情第13号
- 陳情第14号

### 【意見書】

- 意見書案第3号
- 意見書案第4号
- 意見書案第5号
- 意見書案第6号
- 意見書案第7号
- 意見書案第8号

財産の処分について訴への提起について

福井県市町村非常勤職員公務災害補償組合規約の変更について

小浜漁港区域内の公有水面埋立について

内外海漁港区域内の公有水面埋立について

小浜市道路線の認定、変更および廃止について

平成11年度小浜市一般会計補正予算（第4号）

教育委員会委員の任命について

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

介護保険制度実施に対する陳情書

道路財源確保に関する活動について

公務員労働者の新賃金早期決定に関する陳情書

聴覚障害者の社会参加を制限する欠格条項の早期改正をを求める意見書の提出について

「じん肺り患者の救済とトンネルじん肺根絶を求め」陳情書

義務教育費国庫負担制度の堅持を求める陳情書

小中高等学校「30人以下学級」の推進等を求める陳情書

戦後最悪の雇用情勢のもとで、雇用の創出と失業者の生活保障を求める陳情書

「乳幼児医療費の無料化を国としておこなうことを求める」意見書提出の陳情書

道路特定財源の確保に関する意見書

公務員労働者の新賃金早期決定に関する意見書

聴覚障害者の社会参加を制限する欠格条項の早期改正をを求める意見書

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

小中高等学校「30人以下学級」の推進等に関する意見書

乳幼児医療費無料化制度の確立を求める意見書

議 員

原案可決

採 択

採 択

採 択

採 択

採 択

採 択

採 択

採 択



# 一般質問 ハイライト

9月定例会の一般質問は、9月16日・17日の両日に行われ、池尾議員をはじめ、山本、水尾、西本、清水、石野、宮崎、杓子、小堂、荒木、中村、池田、富永、岡尾の各議員が市政各般にわたり質問を行いました。  
(質問と答弁の主な要旨は次のとおり)

## 教育問題

**Q** 二〇〇二年度から実施される新学習指導要領に新設される総合的な学習の時間(総合学習)への取組みについて次の点をお尋ねする。

- ①学習内容のとらえ方と各学校への指導方法について
- ②新学習指導要領実施による学校教育方針の再検討について

**A** ①総合的な学習の時間については、(1)自ら課題を見つけ、学び、考え、主体的な判断による問題解決の資質や能力を育てること。

(2)ものの学び方や考え方を身につけ、問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすることと示されている。本年度は、子どもの主体性を生かす時間にする事、各学校の特色を生かす時間にする事この二点の共通理解で取り組みをお願いしている。

## 公民館

②教育方針の再検討については、方針の三本柱「考え出す頭づくり、たたえる心づくり、たくましい運動能力づくり」に基づき、新しい教育課程について取り組みたい。また、教育方針については、ゆとりの中で生きる力を育む教育活動を実践できるように再検討も含め取り組みたい。

**Q** 現在の公民館の運営について次の点をお尋ねする。

- ①非常勤職員二人体制の現状と問題点について
- ②地域における公民館のあり方について
- ③施設としての今富公民館の建物の現状について

**A** ①各地区の公民館については、本年四月から非常勤館長を常勤館長とし、事務補助員との二名体制とした。

従来は館長が常時いないため、市民の要望に即座に対応できないなどの欠点があった。しかし館長が常勤となったことにより、要望も常に対応できるようになった。現在ではどの公民館も順調に行事を進めており、住民サービスを落さないよう努力している。今後の運営、活動については、地域住民の要望・意見をきめ細かく聞きながら地域の諸問題に共に取り組めるようにしたい。



今富公民館

た、地域住民ニーズを把握し、文化振興、社会福祉の増進に寄与することを目的に運営しているが、一方で役所の行政事務を司る部分もあり、社会教育施設であると共に市役所の窓口的な役割も果たしている。地区公民館では、地域の独自性を生かし、地区のカラーを出して活動することを基本としている。

③今富公民館は建築から二十一年が経過している。当地区は急速に宅地化が進み、人口が急激に増加して現在にいたっている。地区の行事ではホールに入りきれないことがあると聞いており、今後、第四次総合計画を策定する中で検討したい。また、防災計画の中で、今富地区については、今富小学校と今富公民館の二施設を避難所として指定している。

## 近畿自動車道敦賀線

**Q** 近畿自動車道敦賀線について次の点をお尋ねする。

- ①進捗状況について
- ②開通後の本市における問題点の把握と対策について



(仮称) 近畿自動車道敦賀線 飯盛トンネル付近

**A** ①近畿自動車道敦賀線については、第十二次施行命令区間の舞鶴東インターから岡津の(仮称)小浜西インター間では、用地買収率九五パーセント、工事発注率は八十五パーセントとなっている。本市でも鯉川区で(仮称)飯盛トンネル工事の安全祈願祭が九月二日に行われ本格的な工事が始まった。この区間の完成については平成十四年度を目標としている。第十三次施行命令区間の岡津から府中間については、中心線測量が大半の区間で終了し、設計協議の準備をしている。また、残されている部分については、地元の理解が得られるよう話し合いを行っている。府